

## ついに言うか？とうとう言うか？

(作/演出 藤谷清六「アガペーの女」公演パンフレット)

グーグル傘下のAI開発ベンチャー「ディープマインド」の囲碁ソフト「アルファ碁」と韓国の世界トップ棋士・李世石(イ・セドル)九段との五番勝負はアルファ碁が4勝1敗と圧倒的な強さで勝利した。「ヒト」が「AI」にはじめて敗れた瞬間だ。

「ヒト」には白・黒・黄さまざまあるものの交尾をすれば子供が生まれる。つまり「サル目ヒト科ヒト族」一属一科だ。他の動物に比べて大脳の容積が最大、知能においてすべての動物を圧倒する。これを自賛して「万物の霊長」と臆面もなく吹聴してきた。霊長ゆえに豚を殺し、鶏を絞め、牛を屠畜して、豪勢な料理を作り、テーブルマナーまで開発して悦んできた。その正当性は実に万物の霊長ゆえに許された。

だが、ついに自慢の脳力においてAIに敗れた。より優れたAIは自らの知能を発達させる能力すら持つだろう。そういう高性能のAIを使役できる者や組織や政府が人々を支配するようになるだろう。現在の職業の90%はAIに取って代わられる。人々は子供をつくるよりも、優れたAIを後継者とする事で生活の安定を図ろうとする。かくて、人口は激減しAIの数ばかりが増加することだろう。＜アガペーの女＞は果たして敵か味方か？